

# 大杉溪谷 NO.1.



※弥生班 計6名

[ 実施日--2025年10月27日(月)~28日(火) ]

(ハイライトシーン)

① (登山口)



② (岩棚道)



⑤ (千尋滝)



④ (エメラルドグリーンの清流)



③ (京良谷出合)



⑥ (シシ淵--その1)



⑦ (シシ淵--その2)



# 大杉溪谷 NO.2.



⑧ (小休憩)



⑨ (平等嶺吊橋)



⑫ (岩場)



⑪ (鎖場)



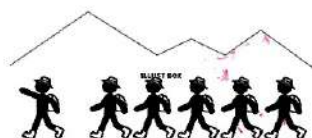
⑩ (桃の木小屋前の吊橋)



⑬ (七ツ釜滝)



⑭ (光の滝)

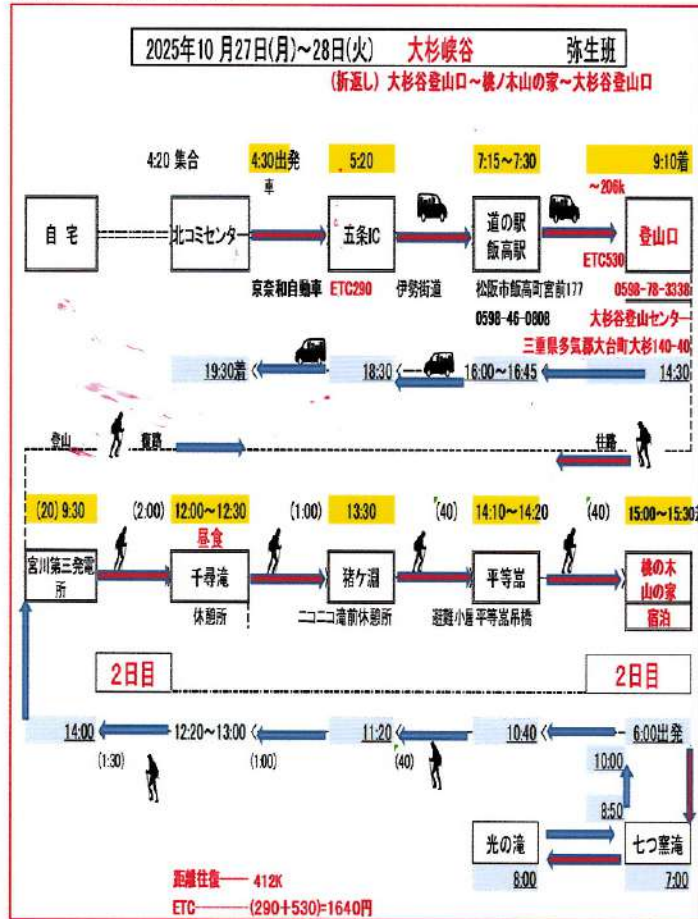


# 大杉峡谷

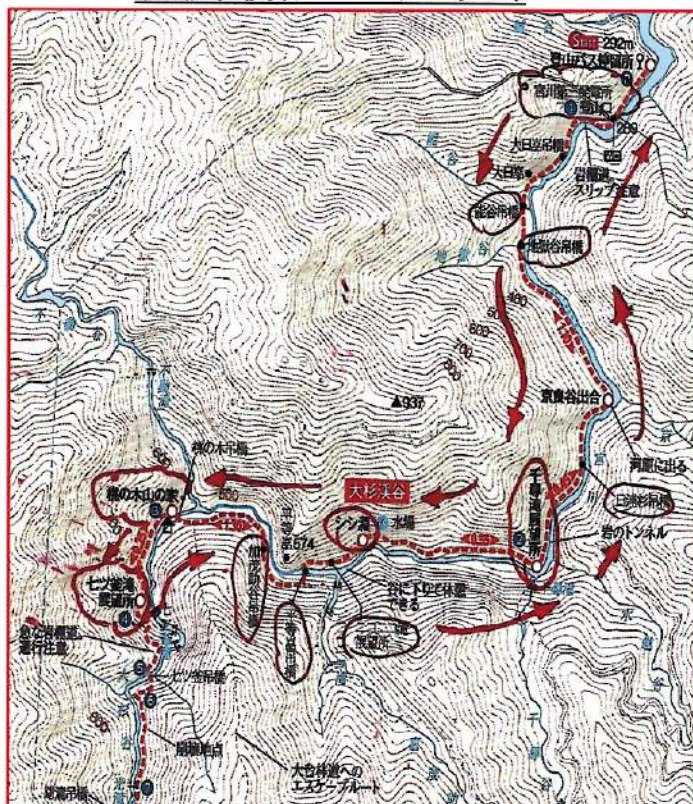
# 紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ---- 2025 年 10 月 27 日~28 日

※(行 程) [予定]



(大杉谷溪谷 ロードマップ)



参加者---(計 6 名)

木村、八木、大森、新延、北山、有本、

※谷 [はじめに]

(大杉峡谷)

○「大杉峡谷」は、「黒部峡谷」や「清津峡」と並ぶ日本三大峡谷のひとつ。  
エメラルドグリーンの沢と、雄大な滝を眺めながら歩く日本屈指の峡谷コース。  
全長約 14 キロ、標高差 1200m。美しい道の大杉谷登山道が整備されている。

(写真 1)

(登山届の提出)



・北コミ 4 時 30 分出発。  
現地駐車場 8 時 30 分到着。登山口で登山届を投函。

(写真 2)

(岩棚道)



・登山口に入るとすぐに岩壁をくりぬいた岩棚道となる。鎖が設置されている。

(写真3)

(京良谷出合)



・河原に出て小休憩。

(写真4) (エメラルドグリーンの清流)



(写真5)

(日浦杉吊橋)



・ここまで、4つの吊橋がある。

- ① 大日吊橋              ② 能谷吊橋
- ② 地獄谷吊橋        ④ 日浦杉吊橋

(写真6)

(千尋滝)



(写真7)

(シシ淵—その1)



・往路のシシ淵

(写真8)

(シシ淵—その2)



・復路のシシ淵

(写真9)

(シシ淵—その3)



・大杉谷を代表するスポットが「シシ淵」

(写真 10)

(小休憩)



(写真 13)

(桃の木小屋をバックに)



・ 14 時 40 分、桃の木小屋へ到着。

(写真 11)

(平等嶺)



(写真 14)

(桃の木小屋前の吊橋)



(写真 12)

(平等嶺吊橋)



(写真 15)

(七ツ釜滝)



・ 2 日目、6 時 50 分、桃の木小屋を出発。  
7 時 30 分、七ツ釜滝に到着。

(写真 16)

(溪谷-その 1)



・大きな石や岩場を進む。

(写真 17)

(溪谷-その 2)



・アップダウンの多い鎖場。  
緊張感の連続。

(写真 18)

(溪谷-その 3)



・光の滝を目指し厳しい道のりが続く。

(写真 19)

(光の滝)



・ 8時 50 分、光の滝へ到着。  
厳しい道のりを超えてたどり着いたときの感動はひとしおです。  
・ 迫力ある絶景に目を奪われ、雄大な自然と一体になる心地が味わえました。

### ※(最後に)

- 大杉谷は転倒や墜落事故の多い所であり、いつもより緊張感と慎重な行動をするよう事前打ち合わせを行った。
- 2 日間とも天気にも恵まれ紅葉にはまだ早い時期でしたが、自然豊かな溪谷を楽しめました。整備された登山道から、川の水量、強弱のある沢、清流、迫力満点の雄大な滝の景観を楽しめた。
- 特に「シシ淵」は、そびえ立つ岩の奥に見える滝と、深くえぐれた谷間に流れる水面、エメラルドグリーンの清流のコントラストがすばらしく、神秘的で、マイナスイオンを感じる景観でした。
- また、アップダウンの多い鎖場は緊張感があり苦労しましたが、超えてたどり着いた「七ツ釜滝」や「光滝」は、感動的で爽快感がありました。
- 清々しい2 日間の旅を満喫しました。